

校長室だより

No. 6

平成30年5月11日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず
加藤嘉一

P T A 活動の価値 - 全校児童 36 人の宮崎小学校と 1065 人の井田小学校から学ぶ -

5月もまだ年度初めの総会が続きます。今週9日(水)は、市P T A連絡協議会総会(これ以降「市P連」と表記)が行われました。昨年度P T A萩原会長は、市P連役員の方針監査を務め総会でも壇上で報告するなど大活躍。萩原さんは、今年の「P T Aおかざき5月号」1・2・3面の多くの部分も執筆しています。今週配付されましたのでぜひ御覧ください。そして、秋葉会長も本年度市P連の理事になりました。中部小P T Aは大活躍です。

さて、今回の市P連総会で、総会に続き宮崎小学校の研究発表がありました。宮崎小は、全校児童が36人で実家庭は23世帯。しかも歴史をたどると、平成22年に千万町小と大雨川小が廃校になり宮崎小に統合されたのでした。3つの学校がそれぞれの学校行事・P T A活動を行っていましたから、何についても再編が必要でした。学校に歩いて通える子供は一部で、多くの子供はスクールバスに乗って通っています。しかもたいへん広い学区となったことで、学校から帰って子供同士で遊ぶことがなかなかできないし、保護者同士も日常生活の中で交流することの難しい現状がありました。

そこで、宮崎小P T Aは、保護者の交流と3つの地域の絆を結ぶために次の3つの作戦を立てられました。

- ①地域のよさを生かした交流を図るP T A活動(親子探鳥会、魚つかみ大会等)
- ②地域人材を活用し地域と一緒に取り組むP T A活動(お茶摘会、親子三世環境整備)
- ③地域行事への積極的なかかわりをもつP T A活動(学区敬老会「おもてなし活動」、ウッドカーリング)

この作戦は、成功していると思えました。わたしが考えるP T A活動の究極の目標は、保護者同士が顔を合わせる機会をもち仲良くなることです。P T A活動のねらいは、子供の教育環境を豊かにしていく行事等に意識が働きます。それにも増して、保護者同士が仲良くする様子を子供に見せることや、忙しい中でも社会的奉仕を別の保護者とともに行う姿を見せることが、子供の人格・社会性を育て、さらに子供ら自身が次世代を育てるとき、保護者とはどういうものかを思い浮かべるモデルとなり原風景となると思うのです。宮崎小P T Aは、親子で取り組む活動や地域行事を活用し地域貢献する活動を仕掛けた結果、保護者同士が共通の体験と時間を過ごし、つながりを深めていました。

一方、「P T Aおかざき5月号」のために取材させていただいた井田小P T Aは、宮崎小と真反対の大規模校で、人の数の多さによる学校・P T A活動への

関心の薄れが課題でした。そこで考えたのが、「一家庭一支援」（プール監視、読み聞かせ、清掃奉仕活動等）でした。これによりPTA活動の楽しさや意義が理解され、参加者同士の新たな人間関係が生まれたことを教えてもらいました。（詳しくは、昨日配付された「PTAおかげさき5月号」3面を御覧ください。）

中部小は今年全校児童が314人ですが、来年から5年先までの市の児童人口推計を見ますと、今後280人から240人程になると予測されています。小規模化が課題となる時、2校の取り組みは一つのヒントになると思いました。

本年度の重点目標 その2

今回は「イ うんどうがだいすきな子を育てる」具体的な取り組みの紹介です。

本年度の重点努力目標

イ うんどうがだいすきな子を育てる

- ・種目・教材の開発、準備運動の方法や指導方法の工夫に努め、運動に意欲的に取り組む態度とバランスのよい体力を育成する。

- 体力テストの分析と対策
- 授業研究（主活動につながる準備運動の工夫等）
- 体育祭学年演技・競技の研究
- 子供全員参加の体育祭テーマづくり
- ☆高学年水泳25m突破チャレンジ（プール開放利用）
- ☆教具の工夫

- ・集会や長い休憩時間に、運動に親しむことができる遊びや道具の紹介、教育活動全般での運動量の確保、環境づくりに努める。

- 体育・保健委員会による活動（休み時間の利用やペア活動、遊びの紹介等）
- 遊具の整備
- 集会の時間の確保（毎週木曜日実施）
- チャレンジコーナーの工夫（体力テスト関連種目コーナー）
- ☆体を動かす楽しさを伝える機会作り（教職員と一緒に遊ぶなど）

- ・竹馬、一輪車、縄跳び等の運動を取り入れ、成果を自覚する場をもつ。

- 竹馬、一輪車特技披露の場作り（体育祭高学年演技、授業等）
- 竹馬、一輪車の整備
- かけあしカードの工夫
- 縄跳び検定・チャンピオンの工夫（ペア学級での練習会）
- ☆クラブ活動での工夫

☆マーク、下線（波線）が入っている部分は本年度新規取り組みたい